

<a href="#">HOME</a>	<a href="#">クオリティマネジメントとは？</a>	<a href="#">バックナンバー</a>	<a href="#">購読方法について</a>	<a href="#">よくあるご質問</a>	<a href="#">お問い合わせ</a>
----------------------	--------------------------------	-------------------------	--------------------------	-------------------------	------------------------

HOME > 2015年01月-03月 (No.12) > 連載 > 日本品質奨励賞への道 (橋本総業)

<a href="#">スペシャルインタビュー</a>	<a href="#">特集</a>	<a href="#">連載</a>	<a href="#">コラム・エッセイ</a>	<a href="#">特別企画</a>
-----------------------------	--------------------	--------------------	--------------------------	----------------------

## 連載 日本品質奨励賞への道

この連載では、日本品質奨励賞受賞組織にフォーカスし、代表者へのインタビューと、取組みの内容をご紹介します。

第14回

橋本総業

2013年度日本品質奨励賞 品質革新賞

取組み紹介

連載
2016年07月-09月 (No.18) ▶ 失敗事例から学ぶ：はじめに (東京大学大学院 濱口哲也)
2016年04月-06月 (No.17) ▶ 日本品質奨励賞への道 (マルヤスエンジニアリング) Part2
2016年04月-06月 (No.17) ▶ 日本品質奨励賞への道 (マルヤスエンジニアリング) Part1
2016年01月-03月 (No.16) ▶ TQMとISO 9001改訂のマネジメントシステム要素間の関係 (第4回) 福丸氏
2015年10月-12月 (No.15) ▶ TQMとISO 9001改訂のマネジメントシステム要素間の関係 (第3回)
2015年07月-09月 (No.14) ▶ TQMとISO 9001改訂のマネジメントシステム要素間の関係 (第2回)
2015年04月-06月 (No.13) ▶ TQMとISO 9001改訂のマネジメントシステム要素間の関係 (第1回)
2015年04月-06月 (No.13) ▶ 日本品質奨励賞への道 (オージー技研) Part2
2015年04月-06月 (No.13) ▶ 日本品質奨励賞への道 (オージー技研) Part1

▼ 全てを表示

年度別 INDEX
<a href="#">2017年01月-03月 (No.20)</a> >
<a href="#">2016年10月-12月 (No.19)</a> >
<a href="#">2016年07月-09月 (No.18)</a> >
<a href="#">2016年04月-06月 (No.17)</a> >
<a href="#">2016年01月-03月 (No.16)</a> >
<a href="#">2015年10月-12月 (No.15)</a> >

## 「みらい活動」によるビジネスネットワークの構築



橋本総業(株) 管理本部長 常務取締役  
伊藤 光太郎 氏

### 1 会社概要

橋本総業(株)は明治23年(1890年)創業の管工機材、住宅設備機器、空調機器を扱う商社(一次卸)です。創業時のパイプ、継手といった配管材料にはじまり、トイレ、キッチン、エアコンなどの設備商品に商材の幅を広げてきました。

1997年にジャスダック市場に上場(店頭公開)し、昨年2014年2月に東証二部上場、同年9月に東証一部に上場変更しました。グループ会社として大明工機(株)、若松物産(株)の2社があり、連結売上高は2014年3月期で1,236億円です(図1)。

※画像クリックで拡大できます。

hat 会社概要	
社名	橋本総業 株式会社 証券コード 7570 (東証1部)
創業	1890年(明治23年) 発行済株式数 9,678千株
代表者	代表取締役社長 橋本 政昭 株主数 3,462名
本社所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町9番9号
資本金	542百万円
従業員数	821名(含む、パート)
連結売上高	1,236億74百万円(2014年3月期)
事業内容	管工機材、住設機器、空調機器の販売
拠点数	全国35拠点
グループ会社	大明工機株式会社 若松物産株式会社

図1 会社概要

## 歴史と基本理念

当社は輸入商からスタートしましたが、その業態は時代のニーズに応じてさまざまに変化を遂げてきました。初代の橋本久次郎は、ポンプをドイツから輸入することからこの商売をはじめ、図2にあるような水道自在器（現在の蛇口）を開発しました。2代目の橋本政次郎は、昭和初期に今でいうところのカタログ販売を開始し、3代目の橋本政雄は、戦後、大手メーカーと特約店契約を結び、商売を拡大していきました。また、1965年にコンピュータを導入し、業務効率化を図るとともに、当社の属する管材業界の会長として業界活動にも積極的に関与いたしました。

そして、1990年に現社長である橋本政昭が就任し、得意先、仕入先との関係において単なるモノの売買に止まらない「ベストパートナー」という思想を導入し、顧客満足度の向上、地域密着型営業に努めてきました。また、同族経営からパブリックカンパニーに向けた店頭公開を1997年に果たし、1999年にISO 9001の認証、2012年にエコステージ3の認証を取得することで、会社の価値向上に努めて参りました。

このように当社は時代の流れに応じて事業のやり方を変化させてきましたが、変わらぬ精神として、当社の基本理念である「正直、親切、熱心」とともに、「感謝」の気持ちをいつも持ちつつ、お取引先から「ありがとう」といわれる企業をめざしてきました。これからも、変わらぬ精神をもって、時代の流れに沿った事業のやり方を行い、会社の質の向上に向けて常に改善をつづけていきたいと考えています。

## 全国支店網35拠点

当社は、地域密着型の営業を図るために、日本全国に支店網を広げています。北は北海道の札幌にはじまり、沖縄に至る事業ベースで35カ所を数えます。とくに、ここ1年間で5拠点（岐阜、沖縄、京滋、山陰、広島）を立ち上げ、今後とも全国支店網の拡大に努めていきたいと考えています（図3）。

## 扱い商材

当社では、建築設備に関わる商品を取り扱っています。図4は、当社の商品別の売上構成を示しています。青で示しているパイプ、継手、パルプといった管材類が40パーセント、ピンクで示しているのはTOTO様の製品で約30パーセント、オレンジの住宅設備機器と合わせると約44パーセントです。最後にエアコン、ポンプといった空調機器で16パーセントとなり、建物に使われるさまざまな設備機器を取り扱っています。私たちのマーケットは、新設の建設着工に依存する部分が大きく、名目GDP約490兆円に対し、約10パーセントととても大きな市場です。中でも、設備関連商品は約5兆円とGDP比で約1パーセントの市場規模と推定しています。

※画像クリックで拡大できます。



図2 時代のニーズに応じた業態の変化

※画像クリックで拡大できます。



図3 全国に広がる支店網 35拠点

※画像クリックで拡大できます。



図4 商品別の売上構成

2015年07月-09月 (No.14) >
2015年04月-06月 (No.13) >
2015年01月-03月 (No.12) >
2014年10月-12月 (No.11) >
2014年07月-09月 (No.10) >
2014年04月-06月 (No.9) >
2014年01月-03月 (No.8) >
2013年10月-12月 (No.7) >
2013年07月-09月 (No.6) >
2013年04月-06月 (No.5) >
2013年01月-03月 (No.4) >
2012年10月-12月 (No.3) >
2012年07月-09月 (No.2) >
2012年04月-06月 (No.1) >

バックナンバー >



## 3 マーケットの推移と業績推移

建設市場が縮小する中で、当社の関わる建設市場はピーク時の1996年と比べると、公共投資の削減などにより縮小傾向にあります。この20年間で市場規模が縮小している中、当社が店頭公開した1997年を100とすると、市場が40パーセント縮小する中であって、売上を50パーセントと増やすことができました。これは、当社の基本理念でもある

▲ TOP

「ベストパートナー」の思想のもと、**日本品質奨励賞** 品質革新賞のテーマにもなりました『みらい活動』によるビジネスネットワーク構築の1つの成果とも考えています（図5、図6）。

※画像クリックで拡大できます。

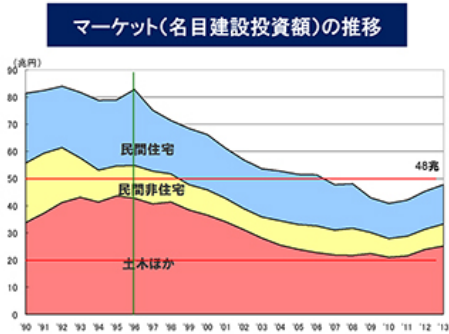


図5 名目建設投資の推移

※画像クリックで拡大できます。

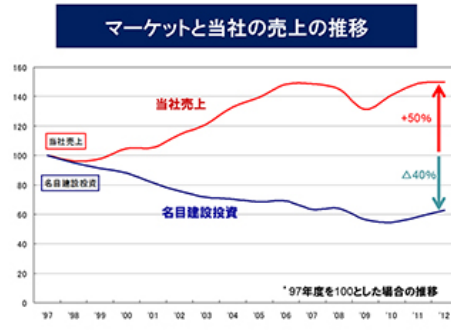


図6 マーケットと当社の売上の推移

# 4 みらい活動

## みらい活動の主旨

「みらい活動」とは、当社の「ベストパートナー」という思想を最大限に発揮したものです。取引先である販売店、メーカー、そして工事業者各社のポテンシャルを最大限に生かす「場」（縁をつなぐ活動）の提供をめざしています。参加される正会員、商品を提供するメーカー、そして地域に根ざした金融機関とのネットワークをつくり、必要な商材が必要な時に手に入るという商材と情報の流れをつくっています。あくまで橋本総業という名前は出さずに黒子に徹して行ない、最大、最良の業界活動と考え、その拡大と充実に努めています（図7）。

この「みらい活動」は、県別の支店を拠点とした会員制組織で、業界最大のネットワークをめざす「みらい会」、メーカー、販売店、工事業者が一堂に会し、業界最大のイベントとなる「みらい市」、ITを主軸としてICT（情報通信技術）を活用し、ビジネス情報を常にタイムリーに提供する「みらい情報」の3要素で構成されています。

※画像クリックで拡大できます。

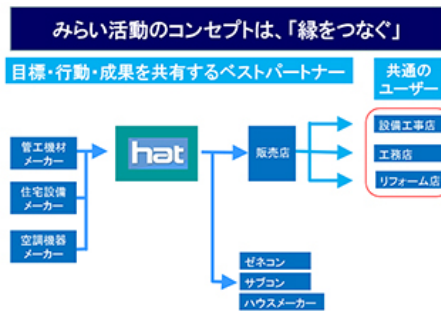


図7 みらい活動

※画像クリックで拡大できます。

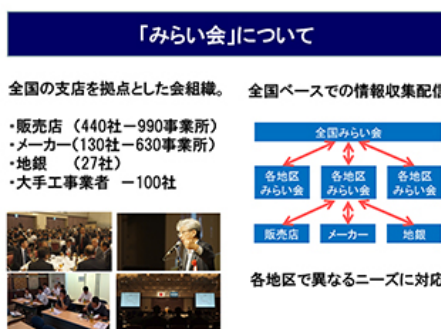


図8 「みらい会」について

## みらい会

「みらい会」とは、全国にある支店を拠点とした会組織のことをいいます。販売店（440社－990事業所）、メーカー（130社－630事業所）、大手工事業者100社に、金融機関27社（2014年10月現在）を加えたネットワークをつくり、各地で異なるニーズに対応するとともに、全国ベースでの情報収集、発信を行いサプライチェーンの仕組みづくりにしなげをつくり、事業環境と業務改善に取り組んでいます（図8）。

また、みらい会の「橋本学校」では、次代の業界リーダーの育成をめざして、販売店の後継者や幹部の育成、定期的な研修会開

※画像クリックで拡大できます。

催などとおして、業界の人材育成を進めています（図9）。その他にも、東京配送センター内に「みらいエコRFセンター」を開設し、販売店や工事業者を対象に、メーカーなどが講師陣として参画し、商材展示、実機による通電・通水の実証・実験などのラボ、業界情報の啓発、実習、テーマ研修など、その研修会の回数は年々増加しています（図10）。

**次代の業界リーダーの育成をめざす  
ビジネススクール「橋本学校」**

橋本学校 2013カリキュラムより	
1/21	2013年の経済見通しについて
2/22	金融IT化の今後と対応
3/12	ISH（株）見学・販売員の見学
3/21	なぜその時 決断してきたか
4/11	会計の基礎
5/21	経営力養成講座（ABC）
6/29	2012年企業倒産の傾向と評価ポイント 経営計画書の具体的立て方
7/16	人材育成
8/21	エネルギー政策と天然ガスの役割
8/21	経営者の為のタイムマネジメント
9/18	経産省技術・チーム運営のルール

販売店 経営者の  
息子・子女の入学（預かり）

↓

仕事を通じた  
人間形成の「場」の提供

↓

卒業後も  
毎月の定例研修会と  
会員相互の親睦の場の提供

図9 ビジネススクール「橋本学校」

※画像クリックで拡大できます。

**座学に加え、展示・ラボ・実地（施工）研修もできる  
「みらいエコRFセンター」**

**配送センターの3Fを研修施設に**

**研修**

- 資材申請第一報
- 業務（商品）
- 商品説明
- エコRF
- 販売
- 労働安全
- 研修
- セレクト研修

**見学**

- 工場見学
- システム構築
- 施工実地
- 現場
- 展示・実地
- 実習
- 見学ツアー

図10 「みらいエコRFセンター」

## みらい市

「みらい市」（図11）とは、取引先であるメーカー、販売店、工事業者のニーズが一同に会するビジネスの「場作り」のことです。ここでもっとも大切なのは、その場に集まった方々が主役であり、その方々の事業の繁栄や利益が増えるきっかけづくりをすることが、一番の目的です。当社は、この業界に関わるたくさんの方が、直接情報交換や商売をするビジネスの場を提供しています。

2014年度は、東京をはじめ、札幌、仙台、名古屋の4か所でみらい市を開催し、ご来場者21,500人（前年比111%）、出展社数862社（前年比109%）と年々その規模を拡大しています。

## みらい情報

みらい情報とは、ITを活用し、ビジネス情報をタイムリーにみらい会会員相互に発信する仕組みです。具体的には、クラウド型の情報提供を行って24時間365日の受発注を可能にした「オンラインパートナーシステム」、350社6,500冊のカタログがネット上で見える「e設備ネット」、月刊誌として業界動向、商品動向などのさまざまな情報を取りまとめた「月刊みらい」などがあります。オンラインパートナーシステムについては、610社（2015年2月現在）の販売店の利用となり、より使いやすいシステムとするために2015年3月から新メニュー化します。

## みらい活動のまとめ

それぞれの活動の礎として当社の基本理念である「ベストパートナー」があり、それがそれぞれの活動に繋がりをもたせ、互いの相互作用によって活動を支えています。今後も、当社が黒子として、これらの3つの活動を有機的に結びつけ、販売店、メーカーそして工事店へのメリットを追求していきたいと考えています（図12）。

**「みらい市」について**

H25年度は東京をはじめ、  
札幌、仙台、名古屋 4ヶ所で開催

ご来場 21,500名(昨年比+11%)  
ご出展 862社(昨年比+9%)

メーカー、販売店、工事店の  
ニーズを一同に会する「場」の提供

業界全体のソリューション提案会

当社は黒子に徹する

図11 「みらい市」について

※画像クリックで拡大できます。

**みらい活動の革新性**

みらい活動の革新性は、3つの活動が有機的に結びつき当社が黒子となり、販売店・メーカーそして工事店へのメリットを追求していること。

**みらい市**

みらい市への  
展示・参加

みらい市への  
ソリューション  
の提供

**みらい会**

みらい会員への  
売上の場の提供

みらい情報への  
参加、閲覧

**みらい情報**

みらい情報への  
の提供

みらい情報への  
みらいコンテンツ  
の提供

図12 「みらい活動」の革新性

TOP



# 5 組織力強化活動

みらい活動を支える組織力強化活動として、当社では「エコステージ3活動」を展開しています。エコステージ活動は2010年のエコステージ1の認証にはじまり、2012年にはエコステージ3の認証をいただきました。また翌2013年には、当社自身が評価機関としての認証もいただきました。

エコステージ3活動の目的は、組織力の強化であり、現場長の育成、改善手法の習得、業務プロセスの改善などの活動を行っています（図13）。

具体的には、5S、見える化活動として、原則月2回のペースで全国の支店を訪問し、以下の活動を行っています（図14）。

## 5S、見える化

5S活動をお客様視点、作業効率、コミュニケーションの活性化、作業安全、法令順守、近隣との信頼性などの観点も加え、内部、外部チェックを行っています。

## 人材育成

人材育成としてプロジェクト制を採り入れ、全国の女性社員を中心とした「エキスパート制度」や現場のニーズを反映した「システム開発」などに取組んでいます。

## みらいステージ活動

また、これまで当社で培ったノウハウを取引先に展開するために、金融、教育、システムなどの商品販売以外の部分でも、経営体質強化をめざし、今後は「みらいステージ」活動としてエコステージ活動についても、取引先への展開を行っていきます。

※画像クリックで拡大できます。

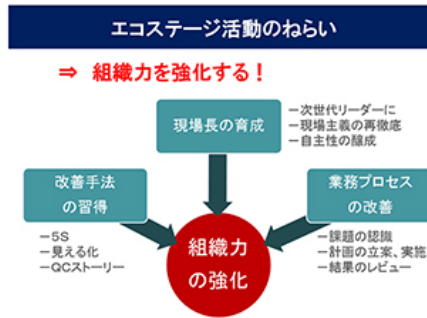


図13 エコステージ活動のねらい

※画像クリックで拡大できます。



図14 具体的な組織力強化活動

# 6 終わりに

今回、「日本品質奨励賞 品質革新賞」をいただき、審査員の方々から「橋本総業は、商品の販売に止まらず、一般卸が扱っていない設備やビジネスの仕組み、情報、ビジネスの場などの提供を通じ、業界全体の発展に努めている。工事業者、販売店、卸業者、メーカーが一体となって顧客のニーズに応え、それを支える人づくり、ネットワークづくりが重要であり、橋本総業は広く社会のために貢献するという視点から、四者が一体となり、人と人がつながることで、お互いのビジネスが向上する関係づくりをめざす「みらい活動」に長年取組んでいる。みらい活動によるビジネスネットワークは、この視点において革新的であり、再現性があることから品質革新賞の受賞資格を備えていると判断する。」



▲ TOP

(日本品質奨励賞 品質革新賞審査員推薦コメントより抜粋) と  
のコメントをいただきました。

橋本総業(株) 本社(東京都中央区)

このコメントを受け、今後の活動の励みとするとともに、みらい活動を通じて業界活動の発展に努めたいと考えています。

[第13回サンデン\(株\) 生産管理・IT本部、経理本部<<< >>> 第15回オージー技研\(株\) \(Part1: インタビュー\)](#)

- 「日本品質奨励賞」については、[日科技連ホームページ](#)をご覧ください。

## 橋本総業(株)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"><li>管工機材、住宅設備機器の販売</li><li>情報処理および情報サービスの提供</li><li>金銭の貸付、保証業務、債権の売買</li><li>リース、賃貸借および損害保険代理業</li></ul>
本社所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町9-9
設立	1938年3月15日
従業員数	811名
ホームページ	<a href="http://www.hat.co.jp/">http://www.hat.co.jp/</a>

## 受賞組織

組織名	橋本総業(株)
所在地	東京都中央区日本橋小伝馬町9-9



[特定商取引法にもとづく表示](#)

[個人情報保護方針](#)

[サイトのご利用条件](#)

許可なく画像や内容を転載する事を禁止します。  
Copyrights 一般財団法人 日本科学技術連盟 allrights reserved.